

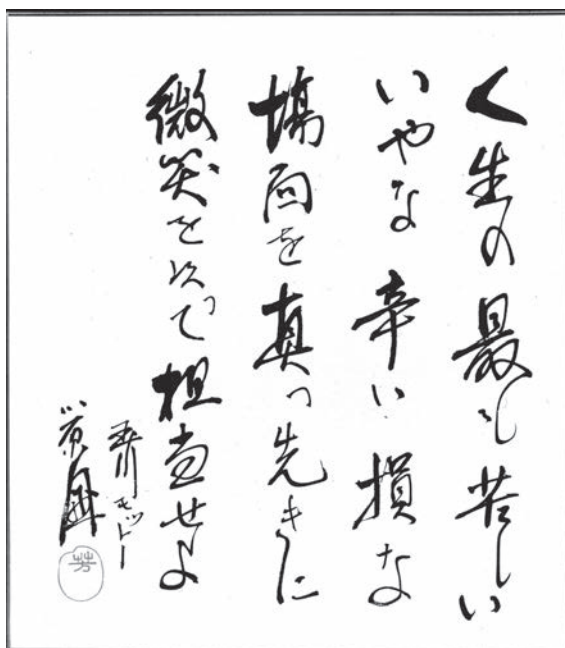
自ら学ぶ態度

大学は学問追究の場であり、自ら積極的に取り組む態度が求められます。とくに通信教育は、テキストを熟読し、レポートを作成して添削指導を受け、科目試験に合格して単位修得という、一連の自立学修を徹底することによってはじめて目的が達成できるものです。そこに手抜きは禁物であり、必要な時間を確保しながら、学問への情熱を維持し、自ら磨いていくという意欲をもって取り組むことが求められます。

学修を進めるにあたっては、ネットワーク上の情報（WebTAMA）をはじめとして、大学から送られた主教材や補助教材、「玉川通信」、その他の連絡文書などを熟読してください。また、ネットワーク上の情報（WebTAMA）も十分に活用して下さい。そして、学修を進めるための事務手続きは、漏れのないよう迅速確実に行ってください。

通信教育では、夏期をはじめ、土日、秋期、冬期、2月、オンライン、ブレンディッドなどのスクーリングの講義や演習などが開講されています。スクーリング授業に出席することによって、その科目の思考法や教師の人間味に触れて学ぶとともに、建学の精神や校風にも親しむことができます。そして、学ぶ楽しみや苦しみを共感できる友人を得るよう積極的に働きかけ、人間的交流を深めてください。

いずれにしても、通信教育は安易な道ではありません。玉川大学を選んでスタートラインに立ったからには、理想とする全人教育を学ぶことを誇りとし、「難きが故に尊い」ということを自覚して大いに研鑽を積み、自己形成を図ってください。



玉川学園創立者小原國芳が学園創設にあたり、教育の指針として定めた本学のモットーである。